

大 森 町 長 様

要 望 書

大 台 町 議 会

大台町議会は、町民の政策活動への参加と連携を高める方策として、広く町民の意見を聴取し、議会活動に反映させることを目的に議会報告会・意見聴取会を開催しています。

令和5年度は「車座で語ろう会」として、10月11日から10月18日までの5日間に10回（9会場）で開催し、総勢91名の町民の皆さまから様々なご意見をお聞きいたしました。

いただいたご意見について、以下のとおり分類し、議員で議論いたしました。

- ① その場で議員が回答したもの
- ② 今後の議会活動に活かしていくもの
- ③ 執行部の見解をお聞きするもの
- ④ 執行部へ伝えておくべきもの

そのうえで、要望いたしたい内容を取りまとめましたので、来年度の施策の推進にあたり、ご配慮くださいますようお願い申し上げます。

令和6年2月13日

大台町議会議長

## 1 地域公共交通について

買い物、バス停までの距離、免許返納後の移動手段など高齢者にとっての移動手段を考えてほしいとの切実なご意見がある。また、新たなライドシェアに対するご意見もある。

執行部は、地域公共交通計画を令和5年度に作成し、今後、地域の公共交通事業者と連携しながら取り組んでいく方針であるが、地域公共交通のあり方は、とりわけ高齢者にとっては、喫緊の課題であり、現行の地域公共交通に捉われることなく、高齢者等外出支援助成（タクシー券助成）も考慮したあらゆる方策について広く検討すること。

## 2 地域おこし協力隊について

地域おこし協力隊は、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組である。

現在の町の地域おこし協力隊については、事業所への派遣が主となっている。本来の趣旨の地域協力活動に視点を当てた取組についても検討すること。

### 3 健康寿命への取組について

高齢になっても元気で暮らせることは、介護費用に係る経費の削減に繋がる。現在実施している健康ポイント付与事業の効果を検証し、そのうえで介護保険を利用せず元気に過ごしている方への報奨制度等について研究すること。

### 4 農地の保全について

人口減少、高齢化等により耕作放棄地の拡大や担い手不足等、今後の農地をどう守っていくかという課題がある。農地保全と活用について、農地の持つ多面的な機能を維持していくための取組の施策を講じつつ、農業振興地域のゾーニングについても検討すること。

### 5 森林作業道の維持管理について

森林作業道は、森林施業において、作業の省力化の面からも効果的であるが、森林作業道は簡易なものである。

そのため、大雨等の際に土砂災害につながる懸念があり、町民の不安材料となっている。作設後の巡視確認及び維持管理の指導を徹底すること。

### 6 太陽光の適正管理について

近年、町内において太陽光の設置が急増しており、近隣住民等から雑草管理などの維持管理に関する懸念が多い状況である。設置者に対し、「大台町太陽光発電施設の設置に関するガイドライン」に沿った指導を徹底すること。

また、他の市町村の取組事例等を調査するなどガイドラインの見直しや条例化について検討すること。

#### 7 小学校の統合について

小学校の統合については、教育委員会、保護者、地域等の協議を重視する必要があるが、新たな学校を建設するという発想だけではなく、生徒数が少なく、余裕のある学校の空き教室に通うという新たな視点も取り入れた学校の統合も検討すること。

#### 8 小学校のスクールバスについて

近年、地域によってはサル、イノシシ、クマの出没が見られ、徒歩における児童の通学において不安材料となっている。

また、今後、地域によっては一人での徒歩通学も想定される。児童の通学の安全面からもスクールバスの運行については、地域の実情や通学生徒数を考慮した柔軟な運行を検討すること。